

事務事業実績測定調査

事務事業名称	一時預かり補助事業												
測定年度	2020(R2)年度			当初	部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名		15-2.保育環境等の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1992(H4)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市一時預かり事業補助金交付要綱・保育事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	一時預かり事業補助金、子ども・子育て支援事業補助金			サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	育児疲れでリフレッシュを必要としたり、就労や就学、病気や出産等の理由で一時的に子どもの保育が困難な保護者			
	サブターゲット	保護者の育児疲れやリフレッシュ、就労や就学、病気や出産等のため、保育所での一時預かりを利用する子ども			
	ターゲットが抱える課題	希望する時期に保育所等に入所することができない。			
	ターゲットが抱える課題	子どもが保育所等に入所していないが、育児に疲れたり、就労等で家庭での保育が困難な状況			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	育児に疲れによるリフレッシュや、短時間の就労・就学等を行う間、子どもを預けることができる状態。				
事業概要	一時預かりを実施する私立保育所(14か所)に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。 光の峰保育園、親愛保育園、常称寺保育園、長尾保育園、くずはあけぼの保育園、村野保育園、牧野保育園、青桐保育園、第2長尾保育園、三矢ゆりかご保育園、宇山光の子保育園、蹉跎保育園、枚方たんぽぽ保育園、みずき敬愛保育園。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		リフレッシュや短時間の就労、就学などで保護者が保育できないときに、一時預かり事業を利用することができる。				一時預かりを利用できる環境を整えることで、保育所等に入所していないが、一時的に保育が必要となる可能性がある子どもの受け入れが可能となる。				一時預かりを実施している私立保育所に補助金を交付することにより、一時預かりを利用できる環境を整える。			
指標設定	指標説明	一時預かり事業の延べ利用者数 (第2期子ども・子育て支援事業計画の目標事業量)				一時預かり事業登録者数				一時預かり実施施設数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	24,990	24,489	23,999	23,521	6,967	6,368	5,827	5,337	14	14	14	14
	実績	14,621				4,749				14			
	達成度	59%				68%				100%			
分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用を控える傾向が見られた。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響で利用を控える傾向が見られた。				一時預かり事業実施箇所を維持することにより、一時預かりを利用できる環境を保持した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,373	3,608	4,785		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,373	3,608	4,785		
	物件費計	100,816	59,218	52,676	71,299	74%	
	歳出計	105,189	62,826	57,461			
歳入	国庫支出金	28,800	18,811	17,588	18,007		
	府支出金	28,800	18,811	17,588	20,018		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	57,600	37,622	35,176	38,025		
	一般財源	47,589	25,204	17,500	33,274		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一時預かりの利用を控える傾向が見られたが、一時預かり事業実施箇所を維持することにより、一時預かりを利用できる環境を保持した。
-------	----------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	令和3年度から、本来の一時預かり事業の利用児童数が定員に達していない場合に、定員に満たず恒常的に空いている枠に、保育所等の入所が決まるまでの間に限り、保護者のフルタイム就労等保育の必要性が高い待機児童を定期的に預かる「就労応援型預かり保育」を実施し、保護者の保育ニーズに応えるとともに、待機児童の解消を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立保育所民営化事業											
測定年度	2020(R2)年度			当初	部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2002(H14)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	民営化の検討対象となる公立保育所。			
	サブターゲット	府内で保育所等を運営する社会福祉法人(民営化の運営法人)。			
	ターゲットが抱える課題	保育所運営や、施設の老朽化対策、子育て支援事業などに係る財源の確保等。民営化に対する保護者等の理解。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	公立保育所の民営化を進めることにより、国・府からの財源を確保し、各種子育て支援施策に活用し、ひいては子どもが健やかに成長できる環境づくりにつながっている状態。				
事業概要	就学前の教育・保育施設に係るひらかたプランに基づき、民営化の取り組みを進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	各種子育て支援施策に活用し、ひいては子どもが健やかに成長できる環境づくりにつながっている。	公立保育所の民営化を進めることにより、国・府からの財源を確保する。				就学前の教育・保育施設に係るひらかたプランの方針を踏まえ、行財政改革プラン2020の取り組み内容に基づき、年1か所程度を目標に民営化を進める。						
指標説明	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	民営化後の保護者アンケートにおいて、現状に満足している割合				公立保育所民営化に伴う経費削減額				公立保育所民営化実施件数			
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
指標数値	0	100	100	100	0	81,450	244,350	325,800	0	1	2	1
	0				0				0			
達成度	100%				100%				100%			
分析	令和2年度中にアンケートを実施する対象施設がなかったため。				令和2年度の民営化対象施設がなかったため。				令和2年度の民営化対象施設がなかったため。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,180	8,418	6,380		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,180	8,418	6,380		
	物件費計	12,622	8,691	206,894	206,977	100%	
	歳出計	15,802	17,109	213,274			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	161,900	186,300		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	161,900	186,300		
	一般財源	15,802	17,109	44,994	20,677		

5. 総括的分析

総括的分析 令和2年度中に渚保育所民営化に向け保育の引継ぎを行い、令和3年4月に民営化を行った。また、令和4年4月の渚西保育所民営化と同時に移転する新園舎用地の土地を購入するとともに、運営法人に対して新園舎整備のための造成工事の補助金を支出する等、必要な手続きを進めた。阪・桜丘北保育所を令和5年4月に民営化する方針を発表後、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら各施設において保護者説明会を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、令和4年度の渚・渚西保育所統合民営化、令和5年度の阪・桜丘北保育所の民営化に向け、取組みを進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	産休等代替職員補助事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2014(H26)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	枚方市産休等代替職員費補助金交付要綱					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市内の保育所(園)の保育士等の中で出産又は傷病を理由として長期休業せざるを得ない者				
	サブターゲット	雇用する保育士が出産や傷病で長期休業する施設 枚方市内の保育所(園)へ入所している児童				
	ターゲットが抱える課題	市内の保育所(園)の職員が、出産又は傷病を理由として長期休業する際、施設を離職せざるを得ない。				
	ターゲットが抱える課題	保育士が出産や傷病で長期休業することで、その間、代替として保育を行う保育士の確保が困難であり、加配職員の減少等、子どもへの保育に影響が出るおそれがある。				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	代替保育士等の賃金相当分を施設へ支援することで、当該職員が休業がしやすく、施設でも代替保育士等を確保しやすい環境になり、保育士等の処遇改善や安定して良好な保育環境が確保されている状態。					
事業概要	児童福祉施設等の職員が出産や傷病で休暇を取得する際に、施設に対し、代替職員に必要となる費用を支援する。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	保育士等の処遇改善や安定して良好な保育環境が確保されている。	職員の休暇中、代替職員によってすべてカバーできている。	代替職員の費用支援を行うことで、児童福祉施設等の職員が出産や傷病等で休暇を取得しやすい環境を整備する。	
指標設定	指標説明	離職しなかった人数 【算出式:】補助対象となった人の内離職しなかった人の割合	職員の出産や傷病による休暇中における、代替職員によるカバー率 【算出式:】補助申請日数に対し補助を行った日数の割合	産休及び病休の代替職員費補助金の補助申請日数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: %	単位: 日
	達成度	100%	100%	39%
	分析	想定通りであった。	想定通りであった。	本年度の目標は、平成30年度の7人の対象者を想定し、設定したが、本年度は対象者が2人であったため、目標に達しない結果となった。しかし、平成30年度と比較し、一人当たりの申請日数は増加している。
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
目標(見込み)	100 100 100 100	100 100 100 100	331 331 331 331@	
実績	100	100	130	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	398	401	399	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人員費計	398	401	399	
	物件費計	1,967	768	779	1,361	57%
歳出計		2,365	1,169	1,178		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		2,365	1,169	779	1,361	

5. 総括的分析

総括的分析	職員の離職率及び代替え職員のカバー率は、目標どおりの実績を残すことができた。また、申請日数においては、目標の実績は残せなかったものの、前年度と比較し、一人あたりの申請日数の増加がみられていることから、職員の良い保育環境の維持、向上ができていていると考えられる。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き事業の啓発に努めるとともに、産休や病休の取得しやすい環境整備を促進する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	子ども・子育て支援法に基づく給付事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業		区分	非選択的事務事業		
事業期間	不明		年度	~		年度まで		
根拠法令等	子ども・子育て支援法							
関係補助金名称						サンセット	~	
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	支給認定子どもに対し、教育・保育を行う施設関係者						
	サブターゲット	支給認定子ども						
	ターゲットが抱える課題	教育・保育を行う施設の安定的な運営の維持。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	教育・保育を行う施設の安定的な運営を維持することで、児童の健やかな成長を促す教育・保育環境が確保されている状態。							
事業概要	各施設に対して教育・保育の実施に係る運営の費用を給付する。 国・府へ負担金の請求及び実績報告をする。							

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						教育・保育を行う施設の安定的な運営を維持することで、児童の健やかな成長を促す教育・保育環境が確保されている。				教育・保育を行う施設に対し、運営に係る費用を適切に給付する。			
指標説明						各施設の利用延べ人数				給付の対象施設数			
指標種類		単位				単位 人				単位 施設			
指標設定		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
指標数値		目標 (見込み)				104,416	105,496	107,896	108,976	63	64	66	67
		実績				114,447				64			
達成度						110%				102%			
分析						想定よりも入所者数が増え、利用延べ人数が増加した。				目標値に私立幼稚園を含んでいなかったため実績が増加したが、実際には想定通りであった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	15,504	17,637	16,748	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	273	1,605	2,324	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	15,777	19,242	19,072	
	物件費計	8,031,452	8,607,028	9,162,685	9,298,155	99%
	歳出計	8,047,229	8,626,270	9,181,757		
歳入	国庫支出金	2,772,492	3,408,105	4,058,396	4,073,959	
	府支出金	1,395,567	1,650,190	1,897,538	1,981,065	
	受益者負担(使用料・手数料)	1,564,604	1,106,275	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	1,466	325,324	347,177	
	歳入計	5,732,663	6,166,036	6,281,258	6,402,201	
	一般財源	2,314,566	2,460,234	2,881,427	2,895,954	

5. 総括的分析

総括的分析	各施設が提供した教育・保育の運営に係る費用(私立保育所76,097人、私立認定こども園34,002人、私立小規模保育事業実施施設1,853人、私立幼稚園2,495人)を適正に給付することができた。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適正に事務を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	私立保育所職員研修費補助事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1993(H5)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市私立保育所職員研修費補助金交付要綱				
関係補助金名称	枚方市私立保育所職員研修費補助金		サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市私立保育園連盟関係者			
	サブターゲット	枚方市内の保育所(園)等に入所している児童			
	ターゲットが抱える課題	保育士等の資質向上や、保育現場における様々な課題への対応が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	研修費用を補助することで、保育現場の現状に対する課題に即した研修やニーズに沿った研修を実施することができ、本研修を経て、保育士等の資質向上および保育現場における様々な課題への対応が出来るようになる状態。				
事業概要	1979年度から枚方市私立保育園連盟へ研修事業を委託していたが、1993年度から職員の資質及び保育内容の向上を図るため、枚方市私立保育園連盟に研修費の補助を交付している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
	研修を経て、保育士等の資質向上および保育現場における様々な課題への対応が出来るようになる。	私立保育所職員の研修を受ける機会が増える。				枚方市私立保育園連盟に研修費を補助することにより、研修事業が活発化する。									
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
	研修参加者による研修の満足度 【算出式:】研修参加者へのアンケートで「参加して良かった」と答えた人の割合	研修参加延べ人数				補助金を活用した研修の実施回数									
		単位	%				単位	人				単位	回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	100	100	100	100	357	357	357	357	2	2	2	2		
実績	0				126				4						
達成度	0%				35%				200%						
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の研修がリモート実施となったことなどから、アンケート調査を実施できなかった。				新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の研修がリモート実施となったことなどから、参加人数の合計が測定できなかった(実績値は、全体のうち測定できた人数)。				研修回数は過去2年間と比較し増加しており、保育現場に即した研修やニーズに沿った研修が実施されたと考えられる。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	398	401	399	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	398	401	399	
	物件費計	450	450	450	450	100%
	歳出計	848	851	849		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	848	851	450	450	

5. 総括的分析

令和2年度の職員研修は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部が開催形式を急遽変更しリモート実施となったことなどから、参加人数の把握が困難であった。
 一方、例年に比較し実施回数は増加し、また、同感染症について収束が見込めない中、コロナ禍における保育所(園)の運営に関する研修を実施するなど、本補助事業における「めざす姿」である「保育士等の資質向上」が図られ、「保育現場における様々な課題への対応」について知見を深めることができるものだったと考えられる。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	補助金交付申込み時や実績報告時における研修内容の審査等を通し、参加人数の増加及び研修内容の充実を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	私立保育所等機能充実補助事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	保育対策総合支援事業補助金交付要綱、子ども・子育て支援交付金交付要綱 枚方市私立保育所子ども・子育て支援事業補助金交付要綱、枚方市小規模保育所子ども・子育て支援事業補助金交付要綱、 枚方市認定こども園子ども・子育て支援事業補助金交付要綱、枚方市小規模保育事業所B型子ども・子育て支援事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	保育対策総合支援事業補助金 枚方市私立保育所子ども・子育て支援事業補助金 枚方市小規模保育所子ども・子育て支援事業補助金 枚方市認定こども園子ども・子育て支援事業補助金 枚方市小規模保育事業所B型子ども・子育て支援事業補助金		サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	支給認定子どもに対し、教育・保育を行う施設関係者			
	サブターゲット	支給認定こども及びその保護者			
	ターゲットが抱える課題	利用者のニーズや子どもの状況等に応じて、児童一人ひとりに対し、よりきめ細やかな質の高い保育を提供する必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	児童一人ひとりに対し、よりきめ細やかな質の高い保育の提供することで、仕事と家庭の両立支援や子どもの健やかな成長につなげることができる状態。				
事業概要	各施設の設置者に対して、以下の内容について予算の範囲内で補助金を交付する。 ・嘱託医手当加算・運営費加算・病児・病後児保育補助・開所時間推進費補助・障害児保育補助 ・延長保育事業費補助・食物アレルギー対策費補助・夜間保育事業費補助・地域子育て支援補助 ・保育士等確保・定着支援事業補助				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	児童一人ひとりに対し、よりきめ細やかな質の高い保育の提供することで、仕事と家庭の両立支援や子どもの健やかな成長につなげることができる。	補助金の交付により、各施設における保育内容が充実できる。	各施設に対して、各補助対象事業の実績に応じて補助金を交付する。	
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	公私立施設入所児童数のうち私立施設の入所児童数の割合	各保育施設の補助金メニューの実施割合	補助金の交付申請施設数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 %	単位 箇所
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	83 85 85 85	59 59 59 59	63 64 64 66
達成度	100%	122%	100%	
分析	想定通りであった。	想定を上回った。 引き続き、補助金を活用し各施設の保育の充実を図る。	想定通りであった。 引き続き、補助金を活用し各施設の保育の充実を図る。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,370	10,422	10,368	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	273	745	2,156	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	11,643	11,167	12,524	
	物件費計	1,350,341	1,425,921	1,521,055	1,695,896	90%
歳出計		1,361,984	1,437,088	1,533,579		
歳入	国庫支出金	71,244	111,700	86,284	125,079	
	府支出金	54,321	57,670	144,996	186,424	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	125,565	169,370	231,280	311,503	
一般財源		1,236,419	1,267,718	1,289,775	1,384,393	

5. 総括的分析

総括的分析	保育所、認定こども園、小規模保育事業実施施設の補助内容の整理を行い、各施設において喫緊の課題である深刻な保育士不足に対応するため、保育士等への市独自の処遇改善として新たな補助項目を創設し、補助制度の見直しを行ったことでさらなる保育の充実を図った。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	各施設に対して各補助対象事業の実績に応じて補助金を交付し、引き続き保育の充実を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	私立保育所等施設整備補助事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	安心子ども基金管理運営要領、大阪府安心子ども基金特別対策事業補助金交付要綱					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	保育等所に入所している子ども、及び保育所等に入所できていない子どものうち、保育を必要とする児童				
	サブターゲット	私立保育所・幼保連携型認定子ども園を運営している法人関係者				
	ターゲットが抱える課題	保育所等に入所したいと考えているが、空きがないため入所できず、待機児童となっている。				
	ターゲットが抱える課題	保育所・幼保連携型認定子ども園の施設の老朽対策や・防犯対策の拡充、定員増を検討する際に、金銭的な負担が大きい。				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育所・幼保連携型認定子ども園の整備・防犯対策の拡充を行うことにより、入所中の児童が良好な環境で保育を受けることができ、かつ、施設整備に合わせて定員増を行うことで、待機児童の受入が可能となる状態。					
事業概要	保育所の老朽化に伴う増改築等とあわせて定員増を行う私立保育所の設置者及び幼保連携型認定子ども園へ移行するために保育所機能部分の整備を行う施設の設置者に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。 防犯対策の強化のための整備を行う私立保育所、認定子ども園に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		定員増により、保育所の受け入れ枠が増えることにより、待機児童解消の一助となる。				補助金交付により、整備を行った施設の定員が増加する。				私立保育所の設置者に対し、補助金を交付することで、保育所の老朽化に伴う増改築等の環境改善を行う。			
指標設定	指標説明	待機児童数				施設整備に伴う増加定員数				施設整備補助金事業による施設整備により保育環境が改善(完了)された施設数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	0	0	0	50	40	75	0	5	3	0	0
	実績	259				50				5			
	達成度	0%				100%				100%			
分析	通年での待機児童の解消に向け、令和3年度当初には私立保育園の増改築により、40人の定員増を行ったが、令和3年4月1日現在でいわゆる潜在的待機児童を含む259人の待機児童が発生した。				樋之上保育園と走谷ちどり保育園の増改築により、50人の定員増を行った。				香里ヶ丘保育園、ギンガ保育園、青桐保育園、船橋保育園の大規模修繕により40人の定員増を行った。また、愛和保育園の移転に伴う改築を行った。				
ロジックモデル②		定員増により、保育所の受け入れ枠が増えることにより、待機児童解消の一助となる。				補助金交付により、整備を行った施設の定員が増加する。				幼保連携型認定子ども園へ移行するために保育所機能部分の整備を行う施設の設置者、及び防犯対策の強化のための整備を行う私立保育所、認定子ども園に対して補助金を交付する。			
指標設定②	指標説明	待機児童数				施設整備に伴う増加定員数				施設整備により環境が改善(完了)された施設数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0
	実績	259				0				16			
	達成度	0%				100%				89%			
分析	通年での待機児童の解消に向け、令和3年度当初には私立保育園の増改築により、40人の定員増を行ったが、令和3年4月1日現在でいわゆる潜在的待機児童を含む259人の待機児童が発生した。				想定通りであった。				防犯対策の強化のための整備を行う私立保育所14施設と、認定子ども園2施設に対して補助金を交付し、防犯対策の強化を図った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,566	6,414	6,380		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,566	6,414	6,380		
	物件費計	224,412	731,428	538,434	538,685	100%	
	歳出計	229,978	737,842	544,814			
歳入	国庫支出金	157,325	11,321	372,173	372,772		
	府支出金	25,876	566,075	4,239	4,351		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	125,400	144,300		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	183,201	577,396	501,812	521,423		
	一般財源	46,777	160,446	36,622	17,262		

5. 総括的分析

総括的分析	通年での待機児童の解消に向け、令和3年度当初には私立保育園の大規模修繕により、40人の定員増を行ったが、令和3年4月1日現在でいわゆる潜在的待機児童を含む259人の待機児童が発生した。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	待機児童の状況や今後の保育ニーズに対応し、通年の待機児童ゼロの早期実現に向けて、様々な手法に取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	私立幼稚園等幼児教育充実補助事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市私立幼稚園等幼児教育充実事業費補助金交付要綱				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	市内に所在しており、特色ある幼児教育を実施している私立幼稚園及び私立認定こども園
	サブターゲット	市内に所在している私立幼稚園及び私立認定こども園へ通っている児童
	ターゲットが抱える課題	幼児及びその保護者へ知育、食育及び体育についての理解を深めるなど、各園の特色を持った幼児教育の充実が必要
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各園の特色を持った幼児教育の充実を図ることで、保護者の様々なニーズに応えるとともに、児童のすこやかな成長につなげることができる状態。
---------------------------	--------------------------------------------------------------------

事業概要	<p>枚方市私立幼稚園等幼児教育充実事業費補助金交付要綱に基づき、私立幼稚園等設置者から補助金交付申請のあった事業について、事業計画書等及び実績報告書の審査を行う。なお、審査に際しては、幼稚園園長経験者(幼児教育について知見を有する者)の意見を聴取した上で行う。</p> <p>なお、補助金交付対象となる取り組み内容については、次の1～4の事業とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 幼児教育と小学校教育との円滑な接続に資する事業 代表的行事・取り組み: 小学校授業体験、小学校給食体験、小学生との交流会 地域の自然、人材、行事、公共施設等を活用し、幼児に多様な体験をする機会を提供する事業 代表的行事・取り組み: 生活発表会、農作物等の収穫体験、自然体験教室、異動動物園招聘、高齢者施設訪問 幼児の保護者その他の関係者に幼児の知育、食育及び体育についての理解を深める機会を提供する事業 代表的行事・取り組み: 子育て相談会、子育て講演会、親子教室(絵画・造形・リトミック等) 1～3の他、幼児の知育、食育及び体育の充実に資する事業 代表的行事・取り組み: 園庭開放、教員研修、未就園児教室、園児と未就園児の交流会
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	各園の特色を持った幼児教育の充実を図ることで、保護者の様々なニーズに応えるとともに、児童のすこやかな成長につなげることができる。	申請に対して、適切な審査の上、適当と認められる事業に対し、補助金を交付する。	私立幼稚園等設置者から事業の補助金交付申請を受け付ける。	
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	本事業を利用した子どもの延べ人数	実施要領で定めた補助対象事業(4事業)の実施件数	補助金交付申請件数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 人	単位 件	単位 件
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	4,339 4,339 4,339 4,339	47 47 47 47	18 18 18 18
達成度	342%	87%	94%	
分析	在園児だけでなく、地域の子どもたち等の参加が想定より大幅に多かった。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で行事等を控える傾向が見られたため、想定を下回った。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で行事等を控える傾向が見られたため、想定を下回った。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	398	401	399	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	398	401	399	
	物件費計	4,814	4,783	4,818	5,400	89%
歳出計		5,212	5,184	5,217		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		5,212	5,184	4,818	5,400	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により各園での事業実施を控える動きがあったことにより、事業の実施件数が減少した。
-------	---------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	本補助金の対象要件等を見直し、保護者のニーズに対応した幼児教育充実事業へ変更を検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	病児保育事業												
測定年度	2020(R2)年度			当初	部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名		15-2.保育環境等の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	1979(S54)年度			年度	~				年度まで				
根拠法令等	枚方市病児保育運営要綱												
関係補助金名称								サンセット	~				
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		普段は保育所に入所もしくは一時保育等を利用しているが、病気またはその回復期で、集団保育が適当でない児童の保護者										
	サブターゲット		普段は保育所に入所もしくは一時保育を利用しているが、病気またはその回復期で、集団保育が適当でない児童										
	ターゲットが抱える課題		保護者の就労等のため保育の必要性があるが、子どもの疾病等の際に保育所等を利用することができない。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもが病気又はその回復期にある場合も、仕事を休めないなど保育が必要な保護者が、病児保育室での保育の提供を受けることができる状態。												
事業概要	市内に居住し、保育所(園)等で保育されている児童を対象者に、枚方市病児保育室(市立ひらかた病院)、枚方病児保育室くるみ((医)保坂小児クリニック)、ピッコロケアルーム((医)田辺こどもクリニック)、クオレ((医)にしだ小児クリニック)の市内4ヶ所の病児保育室で実施。利用前に各クリニック等の受診が必要。 平成28年4月より、市内在住の児童を優先して受入れを行ったうえで定員に達していない場合に限り、市内に勤務している保護者の子どもについて受入れを拡大している。												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	実際に、子どもの病気又はその回復期にあるが、仕事を休むことができない保護者等が病児保育事業による保育の提供を受けることができる。	子どもの病気又はその回復期で、集団保育が適当でない児童の親が、病児保育室に預けられる機会の提供。				市内の小児科への委託及び市直営により病児保育事業を実施する。							
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	病児保育室の利用者人数 (第2期子ども・子育て支援事業計画の目標事業量)				病児保育室における年間延べ受け入れ可能枠(定員×開室日数)				病児保育室開設数				
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
指標数値	目標 (見込み)	3,777	3,672	3,588	3,515	6,579	6,579	6,579	6,579	4	4	4	4
	実績	1,436				6,619				4			
達成度	38%				101%				100%				
分析	利用者人数の減少の要因として、新型コロナウイルス感染症拡大の中、臨時休園や家庭保育の協力などで保育所を利用する日数が減ったことにより、園児が病気等であっても病児保育を利用する必要がなかったことが考えられる。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により利用を控える傾向が見られた。				想定通りであった。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	13,668	13,545	19,140		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	6,096		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	13,668	13,545	25,236		
	物件費計	55,591	55,960	54,400	59,138	92%	
	歳出計	69,259	69,505	79,636			
歳入	国庫支出金	17,062	18,039	13,961	13,958		
	府支出金	17,062	18,039	13,633	15,517		
	受益者負担(使用料・手数料)	1,273	1,568	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	516	1,808		
	歳入計	35,397	37,646	28,110	31,283		
一般財源		33,862	31,859	26,290	27,855		

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度の利用者人数は見込み数を下回っているが、病児保育室の受け入れ可能枠を維持することで、必要な時に病児保育室を利用できる体制を確保することができた。
-------	-------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、病児保育事業の充実を図っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	小規模保育施設整備事業					
測定年度	2020 (R2) 年度	当初	部	子ども未来部	課	私立保育幼稚園課
市長公約との関係	所信表明	市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち				
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実				

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度	年度	~		年度まで
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
関係補助金名称			サンセット		
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保育所等に入所できていない子どものうち、保育を必要とする児童			
	サブターゲット	小規模保育事業の開設を検討している法人及び市(公立施設の場合)			
	ターゲットが抱える課題	保育所等に入所したいと考えているが、空きがないため入所できず、待機児童となっている。			
	ターゲットが抱える課題	民間法人等が小規模保育事業の開設を検討する際に、金銭的な負担が大きい。開設する場所がない。			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	民間法人等に対し、小規模保育事業の整備・開設に伴う補助を行うとともに、公立の小規模保育施設を開設することで、3歳未満児の定員を拡大し、適切な保育環境を提供することができる状態。				
事業概要	平成29年度からの小規模保育事業の実施に向けて、旧枚方区検察庁舎(4月開設)及び北部支所(7月開設)の整備を行う。社会福祉法人による小規模保育事業の開設(平成30年4月開設)に対して、施設整備等に係る補助を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	定員増により、3歳未満児の受け入れ枠が増えることにより、待機児童解消の一助となる。	小規模保育事業の整備・開設により、3歳未満児の定員が増加する。				事業者に対し、補助金を交付することで、新たな小規模保育事業実施施設の開設を行う。							
指標設定	指標説明	待機児童数				小規模保育事業開設に伴う増加定員数				小規模保育事業整備補助金事業による施設整備により開設された施設数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	259				0				0			
	達成度	0%				100%				100%			
	分析	通年での待機児童の解消に向け、令和3年度当初には私立保育園の大規模修繕により、40人の定員増を行ったが、令和3年4月1日現在でいわゆる潜在的待機児童を含む259人の待機児童が発生した。				想定通りであった。				想定通りであった。			
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	定員増により、3歳未満児の受け入れ枠が増えることにより、待機児童解消の一助となる。	小規模保育施設の開設により、3歳未満児の定員が増加する。				公立の小規模保育施設を開設する。							
指標設定②	指標説明	待機児童数				公立の小規模保育施設の開設に伴う増加定員数				計画上の公立の小規模保育施設開設数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	259				0				0			
	達成度	0%				100%				100%			
	分析	通年での待機児童の解消に向け、令和3年度当初には私立保育園の大規模修繕により、40人の定員増を行ったが、令和3年4月1日現在でいわゆる潜在的待機児童を含む259人の待機児童が発生した。				整備予定がなかった。				整備予定がなかった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,976	1,203	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	3,976	1,203	0	
	物件費計	164,833	290	431	600	72%
	歳出計	168,809	1,493	431		
歳入	国庫支出金	85,332	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	286	398	600	
	歳入計	85,332	286	398	600	
一般財源		83,477	1,207	33	0	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>通年での待機児童の解消に向け、令和3年度当初には私立保育園の大規模修繕により、40人の定員増を行ったが、令和3年4月1日現在でいわゆる潜在的待機児童を含む259人の待機児童が発生した。現時点で待機児童対策として小規模保育事業を実施する予定はない。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	待機児童数の推移を見ながら、今後の保育需要を見込み、待機児童対策の手法について検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	保育士等就職支援センター事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち												
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち												
	実行計画名	15-2.保育環境等の充実												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2018 (H30) 年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	職業安定法					
関係補助金名称					サンセット	～
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	保育士等の不足により、保育士等の確保が困難な保育所等。				
	サブターゲット	保育士資格を有する方で保育士として就業していない潜在保育士等。				
	ターゲットが抱える課題	昨今の保育士不足の状況により、保育士等の職員確保が困難である。				
	ターゲットが抱える課題	待機児童解消のため子どもの受け入れをしたいが、保育士不足により受け入れができない。				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育所等からの、求人情報により、保育士等就職支援センターに登録された方を、それぞれの就労希望にあった施設に紹介し、マッチングにより各施設の安定的な保育士等の確保に繋がり、待機児童解消の一助となる状態。					
事業概要	①保育士等の再就職支援コーディネーターによるマッチング ・施設からの求人に応じた求職者の紹介 ・求職者のニーズにあった就職先の提案 ・求職者と雇用者双方のニーズ調整 ・市内保育所等に対する潜在保育士等の活用に関する助言 ②就職相談・就職セミナーの実施 ・就職相談 ・保育士のためのセミナーの開催					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	保育士等の資格を持ち、保育士等就職支援センターに登録されたすべての方が、それぞれの就労希望にあった働き方を実現するとともに、各施設の安定的な保育士等の確保に繋がり、待機児童解消の一助となる。	登録者に対し、就労希望に合った施設とのマッチングを実施する。	各施設からの求人に対応するため、保育士等の資格を持ち、かつ、自分の就労希望にあう施設を求める方による、保育士等就職支援センターへの登録を受け付ける。	
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	マッチング件数	施設での面接実施数	センターへの求職者登録件数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 件	単位 件	単位 件
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	20 21 22 23	39 40 41 42	62 63 64 65
達成度	30	56	76	
分析	150%	144%	123%	
	積極的に各施設に求人票の登録依頼を行ったり、相談会等を行い求職者を確保することで、より多くのマッチングに繋げることができた。	求職者の条件等に合わせて可能な範囲で施設との調整を行い、より多くの求職者を面接に繋げることができたため想定より増加した。	セミナーに加えて商業施設等での出張相談会の拡大などを行ったため、想定より増加した。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.50
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,373	7,102	5,681	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	415	1,102	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	4,373	7,517	6,783	
	物件費計	302	422	268	816	33%
	歳出計	4,675	7,939	7,051		
歳入	国庫支出金	150	2,746	128	266	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	150	2,746	128	266	
一般財源		4,525	4,778	140	550	

5. 総括的分析

総括的分析	セミナーや商業施設等での出張相談会について、前年度よりも実施回数を増やし、開催地域を拡大したことで、登録件数とマッチングの件数を目標よりも多く達成することができた。今後は、コロナ禍での事業継続や実施手法が課題となるため、対応策について検討していく。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き出張相談会、保育士等の再就職支援のためのセミナー等を開催し、より多くの保育士を保育所等への就職につなげる。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	一時預かり補助事業(幼稚園型)													
測定年度	2020(R2)年度				部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名		15-2.保育環境等の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市一時預かり事業(幼稚園型)補助金交付要綱・枚方市私立幼稚園一時預かり事業補助金交付要綱・枚方市私立幼稚園預かり保育事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	私立幼稚園預かり保育事業補助金、私立幼稚園一時預かり事業補助金			サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	私立の幼稚園、認定こども園の教育部分等に子どもを預けている保護者。			
	サブターゲット	私立の幼稚園、認定こども園の教育部分に在園する子ども等(1号認定児)。			
	ターゲットが抱える課題	保護者の就労や日常生活上の突発的な事情、育児疲れ等による負担軽減などから、私立幼稚園・認定こども園の教育部分等に在園する子どもの保護者においても、教育時間を超えた長時間の預かりが求められる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	保護者の多様な就労や社会参加の機会が確保されるとともに、保護者の心理的・身体的負担の軽減等が図られる状態。				
事業概要	<p>私立幼稚園・認定こども園の教育部分に在園する子どもに対し、教育時間前後の預かり保育を実施している施設へ補助金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一時預かり事業(幼稚園型Ⅰ):くずはローズ幼稚園、明善めぐみ園、うみのほし幼稚園、春日丘幼稚園、勝山愛和香里ヶ丘幼稚園、鴻池学園第二幼稚園、鴻池学園第三幼稚園、清香学園幼稚園、報徳幼稚園、うらら幼稚園 一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ):春日東野幼稚園 枚方市私立幼稚園預かり保育事業:春日東野幼稚園、浄幼稚園、楠京阪幼稚園、くずは青葉幼稚園、敬応学園幼稚園、第2ローズ幼稚園(休園中)、長尾幼稚園、東香里丘幼稚園、牧野幼稚園、みょうぜん幼稚園 				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		私立幼稚園の一時預かりを通じて、保護者の多様な就労や社会参加の機会が確保されるとともに、保護者の心理的・身体的負担の軽減等が図られる状態				一時預かりの複数回利用を可能にすることで、さらに一時預かりを利用できる機会が増える。				私立幼稚園の一時預かりに補助金を交付することにより、一時預かりを利用できる環境を整える。			
指標説明		一時預かり事業延べ利用者数(第2期子ども・子育て支援事業計画の目標事業量)				一時預かり事業利用対象者数				一時預かり実施施設数			
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	211,605	213,811	216,025	218,264	4,139	4,139	4,139	4,139	20	20	20	20
		実績	190,578			3,965				19			
達成度		90%				96%				95%			
分析		新型コロナウイルス感染拡大を受け、臨時休園を行ったことや一時預かりについて家庭保育の協力を呼びかけたことで延べ利用者数が目標を下回った。				目標値に対象外施設を含んでいたため実績が減少。また、私立幼稚園、認定こども園の教育部分での利用者が減少し、一時預かり事業利用対象者数が減少した。				目標値に対象外施設を含んでいたため実績が下がったが、実際は想定通りであった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	2,004	2,393	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	2,004	2,393	
	物件費計	—	55,330	55,423	75,861	73%
	歳出計	—	57,334	57,816		
歳入	国庫支出金	—	14,824	14,951	15,308	
	府支出金	—	14,824	14,951	17,017	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	29,648	29,902	32,325	
	一般財源	—	27,686	25,521	43,536	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大を受け、臨時休園を行ったことや一時預かりについて家庭保育の協力を呼びかけたことで、利用を控える動きが見られたが、一時預かり事業実施施設数を維持することで保護者の就労の機会の確保等につなげた。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き事業を継続することで、保護者の就労の機会の確保を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ふれあいルーム補助事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名	15-1.子育て支援の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007(H19)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市ふれあいルーム事業助成金交付要綱				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保育所等に入所しておらず家で子育てをしている、又は保育所等に入所しているが、休日等に近所で子どもと過ごす場を探している保護者。			
	サブターゲット	市内在住の乳幼児			
	ターゲットが抱える課題	子どもとその保護者の交流の場が無い事で、子育てに対する保護者の負担軽減や子育て力の向上が図られない。また、子どもが絵本に親しむ機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもとその保護者の交流の場を設ける事で、保護者のリフレッシュや子どもが絵本に親しむ機会をつくるとともに、子どものすこやかな成長につなげることができる状態。				
事業概要	本とふれあいながら親子の交流ができる場として、市民グループの運営により市内8か所の図書館などで9団体が「ふれあいルーム」を開設。絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを実施(月4回開設:4団体、月2回開設:5団体)				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		保護者のリフレッシュや子どもが絵本に親しむ機会をつくるとともに、子どものすこやかな成長につなげることができる。				子どもとその保護者の交流、および休日に子どもと過ごす場を取得できる機会が増える。				市内8か所の図書館等で開設された「ふれあいルーム」の関連団体の事業実施を支援する。			
指標設定	指標説明	利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合				ふれあいルームを利用した延べ親子数				ふれあいルーム開設か所数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	9,445	9,445	9,445	9,445	10	10	10	10
	実績	97				1,551				10			
	達成度	97%				16%				100%			
分析	概ね目標の満足度を得られた。				新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る市内施設の利用中止及び各種子育てイベントの中止により利用者数が減少した。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	802	399	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	795	802	399	
	物件費計	1,680	1,555	1,173	1,833	64%
歳出計		2,475	2,357	1,572		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		2,475	2,357	1,173	1,833	

5. 総括的分析

総括的分析 令和2年度については新型コロナウイルス感染症により市内公共施設の利用中止や各種子育てに関するイベントを中止したことにより従来の利用者数を大きく下回る結果となったが、ふれあいルーム開設か所数を維持することにより、ふれあいルームを利用できる環境を市民に提供することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度以降も、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながらこれまでの取り組みを継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	多胎児家庭育児支援事業(補)					
測定年度	2020(R2)年度	当初	部	子ども未来部	課	私立保育幼稚園課
市長公約との関係	所信表明	市政運営方針	R2	R3	R4	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち				
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち				
	実行計画名	15-1.子育て支援の充実				

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2012(H24)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市多胎児家庭育児支援事業実施要綱				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	多胎児を養育している保護者			
	サブターゲット	0歳児から3歳未満の多胎児			
	ターゲットが抱える課題	多胎児を育児する保護者の精神的、身体的負担が大きい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多胎児家庭の保護者の精神的、身体的負担が軽減され、ひいては子どものすこやかな成長につなげることができる状態。				
事業概要	①多胎児が出生から3歳に達する日の前日まで、食事及び授乳や沐浴等の介助のため、1回当たり2時間、年10回を上限に、ホームヘルパーを無料で派遣する。 ②多胎児が1歳から3歳に達する日の前日まで、ファミリーサポートセンター利用料を年20時間を上限として助成する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		多胎児家庭の保護者の精神的、身体的負担が軽減され、ひいては子どものすこやかな成長につなげることができる。				登録世帯からのホームヘルパー派遣依頼に対し、適切に対応する。				対象世帯による、ホームヘルパー派遣に伴う、利用登録を受け付ける。			
指標設定	指標説明	多胎児家庭対象全世帯における登録世帯の割合 【算出式:】多胎児家庭対象世帯における登録世帯の割合				登録世帯における利用回数				ホームヘルパー派遣利用登録世帯数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30	30	30	30	91	91	91	91	29	29	29	29
	実績	38				63				30			
	達成度	127%				69%				103%			
	分析	想定通りであった。				新型コロナウイルス感染症の影響で、利用を控える傾向があったことが想定される。				想定通りであった。			
ロジックモデル②		多胎児家庭の保護者の精神的、身体的負担が軽減され、ひいては子どものすこやかな成長につなげることができる。				ファミリーサポートセンター利用料補助を適切に行うことで、登録世帯の当該施設を利用できる機会が増える。				対象世帯による、ファミリーサポートセンター利用料補助のための利用登録を受け付ける。			
指標設定②	指標説明	多胎児家庭対象全世帯における登録世帯の割合 【算出式:】多胎児家庭対象世帯における登録世帯の割合				登録世帯における利用回数				ファミリーサポートセンター利用登録世帯数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30	30	30	30	22	22	22	22	26	26	26	26
	実績	38				24				20			
	達成度	127%				109%				77%			
	分析	想定通りであった。				想定通りであった。				新型コロナウイルス感染症の影響で新規登録を控える傾向があったことが想定される。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	398	401	399	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	398	401	399	
	物件費計	351	577	379	862	44%
	歳出計	749	978	778		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		749	978	379	862	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用を控える多胎児家庭が多くいる中で、複数回にわたり利用をする方も見受けられた。市の取組として、妊娠期から登録できるよう小児科や産婦人科にポスター掲示を依頼した。今後も利用できる体制を整えより多くの方に利用していただけるよう努めていく。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度以降もこれまでの取り組みを継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域子育て支援事業												
測定年度	2020 (R2) 年度			当初	部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標			3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標			15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名			15-1.子育て支援の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	1998 (H10) 年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	児童福祉法第6条の2第6項・枚方市地域子育て支援拠点事業実施要綱					
関係補助金名称					サンセット	～
関係附属機関名称						

事業対象	メインターゲット	保育所(園)等に入所していない、子どもの保護者
	サブターゲット	保育所(園)等に入所していない子ども
	ターゲットが抱える課題	子育て親子の交流の場が少なくなり、子育て相談や地域の子育てに関する情報を受けられなくなることで、子育ての不安感等が増加している。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子育て親子の交流の場を設け、子育て相談や地域の子育てに関する情報を提供することで、子育ての不安感等が軽減し子どものすこやかな成長につなげることができる状態。
---------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

事業概要	<p>私立保育所(園)7カ所、公立保育所3カ所、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん、広場さぶりの計13カ所において、子育て親子の交流の場の提供、相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、講習等を実施する「地域子育て支援拠点事業」を実施する。その内、週5日型8施設においては、子育てサークルへの支援や子育て支援者育成、世代間交流など、地域全体での子育て親子の育ちの支援に関する取り組み(地域機能強化型事業)を実施する。「ファミリーサポートセンター事業」として、依頼会員・提供会員間の相互援助活動のサポートを行うとともに、2歳未満の家庭を対象に「無料体験事業」を実施する。</p> <p>全認可保育所(園)において、生後5～8カ月の間の1回と1歳の誕生日に、全ての親子を対象に保育所を体験してもらう「保育所(園)ふれあい体験事業」と、その内1歳の誕生日参加者に、絵本の読み聞かせと絵本1冊をプレゼントする「枚方版ブックスタート事業」を実施する。「親支援講座」を9講座(1講座4回連続)実施する。「ひらかた子育て応援ナビ」や「子育て応援アプリ」を活用し、子育てに役立つ情報提供を行う。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	子育ての不安感等が軽減し子どものすこやかな成長につなげることができる。	子育てに不安を感じている保護者等が参加できる機会が増える。	市内計13カ所の施設にて、講習等を実施する。

指標設定	指標説明	利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合 【算出式:】参加者へのアンケートで「参加して良かった」と答えた人の割合	地域子育て支援拠点施設におけるイベント参加親子数(合計)	地域子育て支援拠点施設数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 人	単位 箇所
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	100 100 100 100	80,065 80,895 81,733 82,581	13 14 15 16
	達成度	97%	31%	100%
分析	概ね目標の満足度を得られた。	新型コロナウイルス感染症に係る子育てイベントの中止によりイベントの開催回数が減少したことが起因している。	目標達成により市民がより子育てに関する講習等に参加しやすい環境を提供できた。	

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	子育ての不安感等が軽減し子どものすこやかな成長につなげることができる。	2歳未満児の保護者が無料体験を機に、保育について再考する機会が増える。	広場さぶりのファミリーサポートセンターにおいて、2歳未満の家庭を対象に「無料体験事業」を実施する。

指標設定②	指標説明	利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合 【算出式:】参加者へのアンケートで「参加して良かった」と答えた人の割合	ファミリーサポートセンターにおける無料体験利用者数	無料体験事業実施件数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 人	単位 件
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	100 100 100 100	123 129 135 141	295 295 295 295
	達成度	97%	87%	96%
分析	概ね目標の満足度を得られた。	新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用を控える傾向が見られた。	新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用を控える傾向が見られた。	

	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	子育ての不安感等が軽減し子どものすこやかな成長につなげることができる。					対象の保護者が、ふれあい体験を機に、保育について再考できる機会が増える。				全認可保育所(園)において、生後5~8カ月の間の1回と1歳の誕生月に、全ての親子を対象に保育所を体験してもらう「保育所(園)ふれあい体験事業」を実施する。			
指標設定 ③	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合 【算出式:】参加者へのアンケートで「参加して良かった」と答えた人の割合					ふれあい体験事業参加者数				保育所(園)ふれあい体験事業実施回数			
	単位					単位				単位			
	%					人				回			
	指標種類					指標種類				指標種類			
	増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5					R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
指標数値		目標(見込み)			実績			R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5	
		100 100 100 100			97			1,623 1,623 1,623 1,623		24 24 24 24		12	
達成度		97%			62%			50%					
分析		概ね目標の満足度を得られた。			新型コロナウイルス感染症対策により事業の中止をしたことが起因している。				新型コロナウイルス感染症対策により事業の中止をしたことが起因している。				
	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	子育ての不安感等が軽減し子どものすこやかな成長につなげることができる。					対象者が、子育てに関する情報を取得できる機会が増える。				「親支援講座」を実施する。			
指標設定 ④	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	利用者へのアンケートで利用してよかったと答えた人の割合 【算出式:】参加者へのアンケートで「参加して良かった」と答えた人の割合					親支援講座参加者数				親支援講座実施回数			
	単位					単位				単位			
	%					人				回			
	指標種類					指標種類				指標種類			
	増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	R2 R3 R4 R5					R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
指標数値		目標(見込み)			実績			R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5		R2 R3 R4 R5	
		100 100 100 100			97			200 200 200 200		10 10 10 10		6	
達成度		97%			33%			60%					
分析		概ね目標の満足度を得られた。			目標未達の要因としては、新型コロナウイルス感染症対策により事業を中止したことが起因している。				目標未達の要因としては、新型コロナウイルス感染症対策により事業を中止したことが起因している。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	4.90
任期付職員	4.00
会計年度任用職員	1.52
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	42,741	45,567	45,541	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,255	4,737	2,965	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
	人件費計	45,996	50,304	48,506		
	物件費計	100,820	78,143	79,215	82,540	96%
歳出計		146,816	128,447	127,721		
歳入	国庫支出金	34,870	35,886	23,476	24,036	
	府支出金	34,870	35,844	23,452	26,692	
	受益者負担(使用料・手数料)	415	350	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	70,155	72,080	46,928	50,728	
一般財源		76,661	56,367	32,287	31,812	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度において、各地域子育て支援事業については新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る子育てイベントの中止により従来どおりの事業展開ができなかった。これにより各指標数値が目標に対して大きく下回る結果となった。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度以降も、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながらこれまでの取り組みを継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	乳児家庭全戸訪問事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名		15-1.子育て支援の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業		区分	非選択的事務事業							
事業期間	2010(H22)年度		年度	~	年度まで								
根拠法令等	児童福祉法第6条の2第4項												
関係補助金名称							サンセット	~					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	生後4ヶ月までの新生児の保護者											
	サブターゲット	生後4ヶ月までの新生児											
	ターゲットが抱える課題	周囲に子育てを助けてくれる知人等がおらず、子育てに不安や負担を感じている保護者が増加している。											
	ターゲットが抱える課題	子育てへの孤立感等から虐待等に発展するケースがある。											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	虐待等の早期発見につなげるとともに、各種子育て支援情報の提供により子育ての不安感、負担感を解消し子どものすこやかな成長につなげることができる状態。												
事業概要	生後4か月までの乳児のいる全家庭(保健センターによる新生児家庭訪問実施家庭を除く)の訪問を行い、育児に関する不安、悩みの傾聴及び相談、子育ての支援に関する情報の提供、乳児とその保護者の心身の状況と養育環境の把握を行う。												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						訪問を通じて、虐待等の早期発見につなげるとともに、各種子育て支援情報の提供により子育ての不安感、負担感を解消し子どものすこやかな成長につなげることができる。				対象者に対し、訪問のうえ、育児に関する不安や悩みの傾聴、及び相談等を行う。			
指標設定	指標説明					訪問対象者に対する実対応者数の割合				訪問者数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 人			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標 (見込み)					85.84	87.03	88.25	89.48	1,732	1,784	1,785	1,786
	実績					88				1,817			
	達成度					103%				105%			
	分析					想定通りであった。				想定通りであった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	398	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	398	802	798	
	物件費計	11,415	11,404	11,514	11,514	100%
歳出計		11,813	12,206	12,312		
歳入	国庫支出金	3,805	3,801	3,838	3,930	
	府支出金	3,805	3,801	3,838	4,368	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	7,610	7,602	7,676	8,298	
一般財源		4,203	4,604	3,838	3,216	

5. 総括的分析

総括的分析 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種子育てイベントが中止となる中、子育て家庭が抱える悩みを相談でき不安を解消する一助となった。本事業も通常であれば各家庭の家の中で面談を行うが、新型コロナウイルス感染症対策として玄関先で短時間で面談を行う等の配慮を行い、実対応者数、訪問者数共に目標値を達成することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和3年度以降もこれまでの取り組みを継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	待機児童用保育室整備事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部				課	私立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業							
事業期間	R2年度(2020年度)			年度	~	R5年度(2023年度)				年度まで		
根拠法令等	児童福祉法											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	保育所等に入所できない待機児童										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	希望する時期に保育所等に入所することができない。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育所等に入所を希望する児童全てが入所することができる。											
事業概要	<p>市独自基準での待機児童の通年のゼロを目指し、転入や育児休業明けの年度途中での保育需要の増加に対応するため、認可保育所等に申込みをされている方で、待機となっている児童など保育の必要性が高く、かつ緊急性の高い児童を受け入れる待機児童用保育室を公共施設等を活用して設置する。</p> <p>特に年度途中での待機児童が多い南部地域において「さだ西幼稚園跡地」を活用し、令和3年10月頃に機児童用保育室を開設することにより、通年での待機児童の解消を図る。</p>											

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		待機児童が減少する				開設により、年度途中の受入れ枠が増加する				「さだ西幼稚園」を活用して待機児童用保育室を開設する			
指標設定	指標説明	待機児童用保育室設置後の南部地域の待機児童数				南部地域の年度途中の受入れ枠の数				南部地域の待機児童用保育室設置箇所数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	86	0	0	0	0	50	50	50	0	1	0	0
	実績	108				0				0			
	達成度	74%				100%				100%			
分析	待機児童用保育室の開設前であるが、予想より南部地域の待機児童が多く発生した。				令和3年10月開設予定であるため。				令和3年10月開設予定であるため。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.35
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	2,791	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	2,791	
	物件費計	—	—	5,225	5,225	100%
	歳出計	—	—	8,016		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	5,225	5,225	

5. 総括的分析

総括的分析	南部地域において令和3年3月末で閉園する「さだ西幼稚園」を活用して、令和3年10月頃に待機児童用保育室を開設するため、実施設計委託を行い、開設に向けて着実に取組みを進めることができた。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、令和3年10月頃の待機児童用保育室開設に向け、必要な手続きを進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	私立保育幼稚園課運営事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	子ども未来部			課	私立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外									
	施策目標	99.施策体系外									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称						サンセット	~
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	課職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の円滑な運営ができる状態。						
事業概要	予算及び決算に関する事務、照会回答事務、物品購入、物品管理事務、文書の收受、発送、管理事務など。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.94
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	21,229	16,034	10,368	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	91	2,482	2,055	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	21,320	18,516	12,423	
	物件費計	469	23,080	131,518	174,240	75%
	歳出計	21,789	41,596	143,941		
歳入	国庫支出金	0	13,866	23,479	25,290	
	府支出金	0	5,608	17,021	18,562	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	8	8	8	7	
	歳入計	8	19,482	40,508	43,859	
	一般財源	21,781	22,114	91,010	130,381	

5. 総括的分析

総括的分析	必要な事務処理を行い、私立保育幼稚園課の円滑な運営を行った。 また、消毒液や体温計等の物品を購入し、速やかに所管施設へ配布することで、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適正かつ適切な業務運営に努める。